

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート										No.	13-4	
PDCA	主要事業名		半田運河活性化推進事業		部課名		市民経済部観光課			担当	上窪	
											内線	326
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 1 単位施策： 観光											
	全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 18,866 千円											
	会計		一般会計					歳出科目： 06.01.04.02.57				
	事業概要等		事業概要： 半田運河の景観や周辺観光施設、醸造の歴史・文化を活かしたイベントを充実させることにより、年間を通じて賑わいの創出を図る。また、市制85周年を記念した、提灯行列をメインとする光や音楽を楽しめるイベントを開催し、半田運河の魅力を発信しながら、市民とともに祝う。									
			事業目的： 半田運河の景観や歴史・文化を活かしたイベントを通して、半田運河の認知度の向上と、賑わいの創出を図る。									
			事業内容： 半田運河HOTORI brunch、CanalNight、萬三の白モッコウバラ祭、市制85周年記念イベントの開催とPRを実施する。									
			問題点・課題等： 新型コロナウイルス感染症対策の徹底、市内事業者の出店促進及び半田運河周辺の飲食店等との連携が必要である。									
	予算額		主要事業とする理由									
	18,866 千円		歴史的景観、建造物や施設が残る半田運河周辺は、本市特有の観光資源であり、さらなる賑わいを創出するポテンシャルを有している。また、今後、JR半田駅の高架化や駅前土地区画整理事業の新しいまちづくりによる賑わいを創出するうえにおいても、半田運河の観光振興との連携は不可欠であるため。									
	財源内訳		得られる成果									
市費		半田運河の認知度・イメージの向上により、観光入込客数の増加による賑わいの創出やブランド力の向上を図ることができる。										
16,964 千円												
国費												
0 千円												
県費												
0 千円												
その他												
1,902 千円												
D 実績得られた成果と	決算額		得られた成果									
	18,561 千円		新型コロナウイルスの影響を受けながらも、3年ぶりとなる半田運河Canal Nightや、市制85周年記念事業「85祭」を適切な感染対策を行ったうえで開催することができた。観光入込客数も目標値を上回り、広く市民や観光客に半田運河の魅力を発信することができた。									
			成果指標								令和4年度	単位
			半田運河周辺観光入込客数				実績値		238	千人		
							目標値		161	千人		
C 課題の整理	事業の評価・課題		B 半田運河Canal Nightや85祭などの大型集客イベントの開催や、新型コロナウイルスの影響により閉館していたミツカンミュージアムの開館等により、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、半田運河周辺の観光入込客数の目標値を大きく上回ることができた。また、HOTORI brunchや半田運河の鯉のぼり、萬三の白モッコウバラ祭のイベント開催により、市民や観光客に広く運河の魅力発信を行ったほか、新たに運河周辺マップを製作・配布することで、日常的な誘客促進を図ることができた。									
A 課題の今後の方向性	今後の事業の方向性		改善推進 既存の観光施設である半六庭園に風鈴棚を設置することで、新たな客層の誘客につなげ、周辺施設の集客力を活かしながら、半田運河のさらなる賑わいの創出を図る。また、JR半田駅の高架事業や土地区画整理事業の新しいまちづくりによる賑わいを創出するうえで、半田運河の観光振興との連携は不可欠であるため、関係各所と連携し、観光客の立ち寄り先となるスポットの誘致について協議していく。									
	観点別評価		必要性		有効性				効率性			
			①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 大きい		⑦コスト削減 余		ある			
			②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある		⑧受益者負担適正化余		※対象・手段の変更			
			③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない				-			